

SUN なな × ト。

みんなの豊かな笑顔と
広野の豊かな自然が
わたしのエネルギー



地域ボランティアグループ
「ほのぼのの広野」相談役
甲藤 和子 さん
Kazuko Katto 広沢



ラジオ・ハニーFMでもっと詳しく聴けます！【6/21 15時10分～】

「小さい頃から人の世話をするのが好き。考えるより先に体が動くんです」優しい表情ながら精神的な一面をのぞかせるのは甲藤和子さん。「広野には昭和64年から暮らしています。昔から住んでいる人も多く、隣近所のつながりを大事にする地域。豊かな自然にも囲まれています。ここで暮らしているうちにボランティアがしたいという力が湧いてきました。広野地区にもボランティアグループを——そう声をかけると「地域のために何かやろう！」熱い想いを持った19人が集まり、平成15年にグループを設立した。当初は、お金も経験もなかった。だからこそメンバー同士で何でも話し合って決めるということを大事にしてきた。

活動は、高齢者の話し相手、毎月開催する「ほのぼのカフェ」、子どもたちの見守り、広野地区のイベント支援など多岐にわたる。「無我夢中で毎日を過ごしてきまして。どんなに忙しくてもしんどいと思わなかったのは、みんなの元気な笑顔が見たいから」ボランティアをしてあげているのではなく、させていたでいてくれるという気持ち。日々の活動こそが自分のエネルギーになっていると話す。

これまで大切にしてきたのは「自分たちのできる範囲でやろう」ということ。「あれもこれもしなきゃと気負うのではなく、いつも



■ 甲藤さんと毎日のように交流がある
おかざき ゆい か
岡崎 結香 さん(右)

「今日はどんなことがあったの？」
「いつも優しく聞いてくれます。あやとびが52回出来たとき、甲藤さんに知らせたくてお手紙を書きました。家族以外でも気にかけてくれる甲藤さんの存在はとても心強いです。いつも見守っていてくれてありがとうございます！」

「自然体でいられたからこそ、ここまで長く続けてこられたのかな」と甲藤さんは振り返る。

「どこに行ってもすぐにお友達ができるんです」ボランティア以外のつながりも大事にしてきた。「近所の子どもたちにはおはよう！と声をかけると、笑顔で駆け寄ってくれて。学校から帰ると楽しそうにいろいろなことを話してくれるんです。先日は、お手紙までくれました」と甲藤さんは微笑む。

来年で設立20年を迎えるほのぼのの広野。「新しい人を育てない」とねー設立当初から続けてきた代表を退き、現在は相談役として次世代にバトンを繋ぐことに力を注ぐ。「自分たちの地域を自慢できる元気な広野であってほしい」と「ほのぼのの広野」の志をこれからもつないでいく。

エスディージーズ SDGs



未来へSDGsの種をまこう！
「こんなところにSDGs」

■ ゴミ処理施設でエネルギーの地産地消を



三田市クリーンセンターは稼働から約30年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。現在計画している新ゴミ処理施設は安心して快適な市民生活を維持するとともに、二酸化炭素の排出抑制など、環境負荷を低減します。また、ごみの焼却熱による発電を効率的に行い、防災機能を併せ持つ強靱で安全性が高い「地産地消型エネルギーセンター」を目指します。施設の更新とごみの再資源化などの取り組みを組み合わせることで、本市が目指すゼロカーボンシティの実現に貢献していきます。

SDGsの詳細について市HPで紹介しています ▶



問い合わせ = 政策課 (559-5038 FAX 563-1366)

防災・防犯・交通安全



風水害の季節！「自分は大丈夫」
それ本当？風水害に備えよう

梅雨前線や台風などに伴う豪雨により、河川のはん濫や土砂災害発生の危険性が高まり、備えが必要な時期です。今一度、災害時の行動を確認し、「備えあれば憂いなし」の意識で、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

■ 「さんだ防災・防犯メール」に登録しよう

市の気象情報や避難情報などをいち早くメールで知ることができます。自分や家族の命を守るためにも登録をしましょう。右記2次元コードから簡単に登録できます。



■ 「ハザードマップさんだ」を確認しよう

自宅の災害リスクや避難場所を確認し、災害時に取る行動を考えておきましょう。紙面版は各市民センターなどで配布、Web版は右記2次元コードからご覧ください。



⚠️ 洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、大雨の影響などで避難情報が発令された場合、速やかに避難行動をとりましょう。

問い合わせ = 危機管理課 (559-5057 FAX 559-1254)

共生



「きこえるってどんなこと？」
きこえない人・きこえにくい人を知る

■ 補聴器をつけたら聞きとれる？

きこえにくい人(難聴者)の多くは、補聴器を使っています。「補聴器をつけたらきこえる人と同じように聞きとれる」と思っていますか？難聴になると音の選別が難しくなるため、補聴器をつけても聞きたい音や声だけを拾うことには限界があります。補聴器をつけている人へ話しかける時は、次のポイントを意識し、その人にあったコミュニケーション方法で話しかけるだけで、ぐっと聞き取ってもらいやすくなります。

■ 補聴器をつけている人に話す時のポイント

<p>耳元で大きな声で話さない</p>	<p>ゆっくり、はっきり区切って話す</p> <p>「今日は「歩いて」行きます！」</p>
<p>できるだけ口元や表情が見えるように話す</p>	<p>静かな環境が聞き取りやすいです</p>

問い合わせ = 障害福祉課 (559-5075 FAX 562-1294)

消防・救急・救命



知っていますか？
あなたの身近にある危険物

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。消毒用アルコールには危険物に該当する商品もあり、取り扱いを誤ると火災などを引き起こす危険があります。次のことに注意して取り扱いましょう。

<p>火気の近くで使用しない。</p>	<p>詰め替えるときは換気を行う。</p>	<p>直射日光が当たる所に置かない。</p>
---------------------	-----------------------	------------------------

その他にも身近な危険物として、灯油やガソリンはその代表例ですが、スプレーや化粧品などにも危険物が使用されているものもあります。正しく使用し、事故が起きないように取り扱いには十分ご注意ください。

■ 6月5日～11日は危険物安全週間

身の周りにある危険物の性質や使い方を十分理解し、火気の周囲で使用しないなど、正しく安全に取り扱い、事故を未然に防ぎましょう。

問い合わせ = 消防本部予防課 (564-7308 FAX 563-1230)

▲消毒用アルコールの危険性